

「新しい東北」復興ビジネスコンテスト2015 アイデア部門意見交換会 概要

(2015.10.12@せんだいメディアテーク)



「新しい東北」官民連携推進協議会・復興金融ネットワーク(投融資促進分科会)事務局では、「新しい東北」復興ビジネスコンテスト2015 アイデア部門意見交換会を平成27年10月12日(月・祝)にせんだいメディアテーク(仙台市)にて開催しました。

■参加者

テーマ	テーマ提供者	受賞者
林業再生に資する間伐材を活用した商品アイデア	株式会社磐城高箸 代表取締役 高橋正行様	大阪市立工芸高等学校 インテリア デザイン科 3年 勝間ゆりえ様
「地熱のある生活」定住促進に向けた新しいライフスタイルの提案	企業組合八幡平地熱活用プロジェクト 理事長 船橋慶延様	桐光学園高等学校 2年 日高英嗣様
甘糰飲料によるウェルカムドリンク企画・販売戦略アイデア	島津麴店 6代目 佐藤光弘様	安本理恵様
オール地元産品で製造したスープ餃子の販売戦略アイデア	審査員 土肥健夫様	赤須治郎様

記念撮影

各テーマ共通の副賞「創風機 Q」とともに受賞記念撮影を行いました。



「林業再生に資する間伐材を活用した商品アイデア」
勝間氏と(株)磐城高箸高橋社長



「地熱のある生活」定住促進に向けた新しいライフスタイルの提案」
日高氏と企業組合八幡平地熱活用プロジェクト船橋理事長



「甘糰飲料によるウェルカムドリンク企画・販売戦略アイデア」
安本氏と島津麴店六代目佐藤氏



「オール地元産品で製造したスープ餃子の販売戦略アイデア」
赤須氏と担当審査員の土肥氏

アイデア募集・提案の背景

高橋氏(磐城高箸) 杉の間伐材のみを使って、原木から杉の高級割り箸の製造を行っています。割り箸は中国産が90%以上であり、高級割り箸に限ると東日本で製造しているのは当社のみです。高級割り箸の国内製造業者は奈良県の吉野に多く所在していますが、現在進行形で生産者が減少しており、当社と同じ形の割り箸を作っている業者は西日本にも1社しかありません。当社設立の目的は、林業の活性化であり、その手段として割り箸を選んだということです。原木をさらに有効利用した新しい製品を開発しようと思っていますが、どうしても視野が狭くなりがちなので、今回アイデア部門に参加しました。



(株)磐城高箸 高橋社長



八幡平地熱活用プロジェクト
船橋理事長



島津麴店
六代目 佐藤氏



自然食品ばんだい
審査担当土肥氏

船橋氏(八幡平地熱活用プロジェクト) 八幡平地熱活用プロジェクトの船橋です。農業をベースとして、馬糞堆肥とマッシュルームの生産・販売を主に行っています。馬の堆肥を通年安定発酵させるための熱源として地熱が利用できたため、地熱活用プロジェクトという名前になっています。馬糞堆肥をベースとして、マッシュルームやその他の農作物を生産し、事業の中で一つの循環を作りたいと思って進めています。今年度は、エネルギー庁から「平成 27 年度地熱理解促進関連補助事業」という調査事業も受託しています。今回は、様々なアイデアをいただきましたが、なかでも選定したアイデアは、自分たちの事業を見つめ直すアイデアだったと思っています。

佐藤氏(島津麴店) 島津麴店6代目の佐藤光弘です。当店は、石巻市にある麴製造所で、創業は明治42年なので、今年で106年目を迎えます。5代目までは、味噌や甘酒を中心に製造していましたが、津波で製造ができなくなった状態になってしまいました。その後、様々な方々からサポートをいただいて、昨年再オープンすることが出来ました。再オープンにあたって、華糍という甘糍飲料を開発しました。これは、ササニシキ 100%、低温加熱製法にこだわった全く新しい商品です。現在、販売方法の検討を進めているところです。今回は非常によいアイデアをいただいたと思っています。

瓜生氏※(自然食品ばんだい) 昨年はビジネスコンテストの奨励賞をいただき、販路開拓につながる出会いもありました。今年に入って新商品「喜多方もちりスープ餃子」を開発しました。この商品は、皆さんと一緒に開発をして、皆さんと一緒に全国へ届けたいと思っていましたので、このようなチャンスをいただけたことが大変うれしかったです。私では考えられないアイデアを沢山いただき、これを全部達成できたらどんなに素晴らしいことかと思いました。今回選定したアイデアはこれから事業化したいと思いますが、年内は厳しいので、来年から着手しようと思っています。

※事前に提供いただいていた文章を事務局にて代読。

土肥氏(瓜生氏代理) ビジネス部門とアイデア部門の両方の審査を担当いたしました。赤須様のアイデアは、地元の方でも知らない菅原神社とつなげてうまくストーリーを作っていただいたことに加えて、当社の今の事業規模にあったアイデアであった点が抜群だったと思います。

勝間ゆりえ氏 木工の授業の延長線上で夏休みの間に間伐材のアイデアを考えました。色々調べたうえで、アイデアを考えました。このアイデアは、ネクタイをさらにおしゃれにできないかと日頃から思っていたことから考え付きました。このほかにもいくつかアイデアを出していましたが、このアイデアが選ばれたのは意外でした。「モクタイ」というネーミングは、「眠り杉枕」にインスピレーションを受けました。

日高英嗣氏 応募したきっかけは、学校で「政治経済同好会」というものがあり、その顧問の先生に紹介していただいたことでした。応募する際に、八幡平地熱活用プロジェクトさんが作った動画を見てアイデアを考えました。テーマはライフスタイルの提案だったので、アイデア全体での活用もそうですが、切り出して活用していただくことも想定していくつかのパートに分けて提案しました。



勝間ゆりえ氏



日高英嗣氏



安本理恵氏



赤須治郎氏

安本理恵氏 被災地の復興の段階がハードからソフト、産業の活性化に移ってきたと感じており、ソフトであれば何か自分にもできることがあるのではと思って提案をしました。甘糍飲料のウェルカムドリンクは、国際会議で出したらよいのでは、と考えています。仙台市での国際会議等で海外からの参加者にこの商品を提供することで、将来的には海外展開につなげていければと考えています。

赤須治郎氏 クラウドワークスから応募しました。こういったことを仕事としてやっているの、自分自身を試すような気持ちでアイデアを考えました。あまりお金を書けずに実現できるアイデア、という観点で考えました。夜食をよく食べた思い出、菅原神社にもよくお参りに行った経験がありまして、自分の経験からアイデアをまとめました。夜食は体に良いというものでは必ずしもないので、栄養価をうまくアピールしつつ販売できればよいと考えました。

意見交換

高橋氏 既に試作に着手しています。ただ、杉は弱く、割れやすいという特性があり、板を割らずに作っていくのは大変難しいです。ですが、杉には赤い部分と白い部分があり、このコントラストがうまくできるとデザイン面でも非常に面白いと考えています。赤でも、淡いピンクであったり、濃いこげ茶色であったり、と様々あります。難しいですが頑張っていきたいと思います。

勝間氏 ほかのアイデアが良いと思っていたので、「モクタイ」の受賞を聞いたときは驚きました。

高橋氏 いただいたアイデアは全て最後まで選考に残っていたんですよ。

勝間氏 モクタイですが、木材の中に穴をあけて空洞にすることはできませんか。

高橋氏 実は鉛筆も作っています。芯を入れなくても可能なので、空洞にすることはできます。これに穴をあけるのであれば、モクタイもうまくいくかもしれません。うまく作れば、木琴のようないい音がするかもしれないですね。

船橋氏 皆さんそうだと思うのですが、様々な観点からのアイデアをいただきましたので、選考は本当に悩みました。そのなかで、日高さんのアイデアは自分たちの思いを理解してくれていた。大変うれしかったです。

日高氏 疑問に思っていることがあるのですが、馬糞堆肥を作る際の熱はどうしているのですか。

船橋氏 馬糞は草があまり消化されていない状態で出てきます。これにおが屑や稲わらなどを混ぜると、通気性がよくなって、何もなくても活性化して温度が上がります。70～80℃まではいきますね。ただし、堆肥として一番良いものを作ろうとすると、60℃くらいに保つことが重要になります。堆肥を作る過程でかき混ぜないといけないのですが、かき混ぜて一度温度が下がるとなかなか上がらないんです。そこで温泉熱が使えないかと考えました。ちょっとこれからの展望の話になってしまいますが、マッシュルームを安定供給しようとする、稲わら・麦わら・馬糞が継続的に必要です。そのためには、馬が必要、という循環にしたいと考えています。日本では競走馬が年間7,000頭生産されて、走らな

くなるとほとんど殺処分されています。そこで、馬が必要な産業を作って、馬の面倒を見られるようにしたいと考えて事業を行っています。事業が軌道に乗れば、次は人材が必要になります。引退した厩務員さんや大学等で馬術部に所属していた馬好きな人と一緒に働ければと思っています。新しく来た人が地域に溶けこむためのアイデアいただいたので、まずはそこから実現を図っていきたくて考えています。

佐藤氏 当社の場合は、海外へ売り出したいという思いがある中で、自分たちが考えていなかったアイデアを出していただいたことが決め手となりました。まず、MICE から取り組んでみたいと思っています。ネット上での情報発信にも力を入れていければよいと考えています。安本様にはお願いですが、華糍を飲んでいただいて、よいレシピのアイデアがあれば教えてもらいたいです。それから、話は逸れますが、ビジネスコンテストの授賞



意見交換会に先立って行われた表彰式での一コマ

式に参加されていた末家焼窯元ひろ窯さんと話す機会がありました。末家焼は300年、華糍は100年で合わせると400年で、ちょうど慶長遣欧使節のサン・ファン・パウティスタ号の出帆から400年なので、何か一緒にできたら面白いですねという話をしました。

安本氏 以前飲んだ時は、バナナと牛乳と抹茶に合わせて飲んでみました。

佐藤氏 バナナと華糍は合うんですよ。

安本氏 なぜウェルカムドリンクとしてアイデアを募集したのですか。

佐藤氏 用途を限定することで、自分たちが考えていない面白いアイデアが出るのではと考えました。

安本氏 華糍を飲もうとすると、どうしても粒が下の方に残ってしまいます。どうしたらよいでしょうか。

佐藤氏 時間がたつと糍成分が沈んでしまいます。1回で飲み切れるサイズを考えています。

土肥氏 自然食品ばんだいさんについては、スープ餃子の販売戦略ということで、様々なアイデアをいただきました。当社では、すぐに着手できそうな規模感のアイデアを求めていたこともあり、赤須様のアイデアが選ばれました。既に社長は動き出しており、来年度には実現するのではと思っています。



表彰式後の記念撮影

左から、勝間ゆりえ様、日高英嗣様、パナソニック株式会社東北支店支店長石原和洋様(協賛)、安本理恵様、赤須治郎様

赤須氏 「頭脳パン」という栄養機能食品がありますが、このスープ餃子も「夜食べても太らない」、「頭が活性化する」といった機能性を打ち出せばよいと思います。販路ですが、例えばラーメン店は既に餃子を持っており、市場としてはあまり見込みがないと考えました。自社で市場を作っていく必要がありますので、そこで受験生の夜食を思いつきました。

赤須氏 アイデアを出す以上は、その後の展開も気になるところです。ウォッチしてもらえると嬉しいです。

参考:受賞者一覧

テーマ	<p>林業再生に資する間伐材を活用した商品アイデア</p> <p>株式会社磐城高箸(福島県いわき市)は、地元の林業の再生に向け、市内の伐採現場から、杉丸太を、市場価格よりも高い値段で買付けて、付加価値の高い最終製品を一貫製造・販売しています。同社が製造している割り箸・枕素材につづく、間伐材を活用した付加価値の高い商品のアイデアを募集しました。</p>
受賞アイデア	<p>「モクタイ」</p> <p>大阪市立工芸高等学校 インテリアデザイン科 3年 勝間ゆりえ 様(大阪府)</p>
アイデアのポイント	<ul style="list-style-type: none"> ● 木材を糸でつなぎ合わせたネクタイ。 ● プライベートはもちろん、会社等でも個性的なファッションを楽しめる製品の提案。
テーマ	<p>「地熱のある生活」定住促進に向けた新しいライフスタイルの提案</p> <p>八幡平地熱活用プロジェクトでは、日本初の商業用地熱発電所のある岩手県八幡平市で、地熱を活用した馬ふん堆肥の製造とマッシュルームの栽培を事業化しています。この事業の本格稼働にあたり、地域への定住促進に向けた新しいライフスタイルを募集しました。</p>
受賞アイデア	<p>「馬と地熱の暮らし」</p> <p>桐光学園高等学校 2年 日高 英嗣 様(東京都)</p>
アイデアのポイント	<ul style="list-style-type: none"> ● 地熱を冷暖房・発電に活用した住宅・宿泊施設の整備・運営。 ● さらに、「馬との暮らし」による新たなライフスタイルを確立し、地域の魅力を伝えることで、事業の担い手となる人材の定住を促進。
テーマ	<p>甘糍飲料によるウェルカムドリンク企画・販売戦略アイデア</p> <p>島津麴店(宮城県石巻市)では、宮城県内産ササニシキの1等米を用い甘糍飲料を開発。麴菌が生成する豊富な酵素が腸内環境を整えるなど、健康飲料としての活用が期待されます。これをウェルカムドリンクとして販路を広げるための企画・販売戦略を募集しました。</p>
受賞アイデア	<p>「華糍のグローバル展開！仙台市のMICE強化都市選定を契機に」</p> <p>安本理恵 様(京都府)</p>
アイデアのポイント	<ul style="list-style-type: none"> ● 仙台市の「グローバルMICE強化都市」指定(本年6月)を踏まえた提案。 ● 仙台市周辺で開催する国際会議等において、県外・海外からの参加者に商品を提供することを通じ、広く魅力を発信するための販売戦略。
テーマ	<p>オール地元産品で製造したスープ餃子の販売戦略アイデア</p> <p>自然食品ばんだい(福島県喜多方市)では、地場産コシヒカリ等、オール地場産品で製造した焼き餃子「喜多方もっちり餃子」を製造しています。今回は、同社の新商品である「スープ餃子」の販路を広げるための企画・販売戦略を募集しました。</p>
受賞アイデア	<p>「スープ餃子を『受験生のパワー夜食に』作戦」</p> <p>赤須治郎 様(石川県)</p>
アイデアのポイント	<ul style="list-style-type: none"> ● 餃子の栄養価に着目した、「受験生の夜食」向けの販売戦略。 ● 受験生やその保護者を対象とした試食会や、喜多方市内にある菅原道真を祭る神社との連携等について提案。

以上